



1981年生まれ。桜井地区栢山出身。桜井小学校、城北中学校、県立足柄高等学校、法政大学経済学部卒業。法政大学大学院経済学研究科修士課程修了。全国一般労働組合神奈川県地方本部書記などを経て、2019年初当選。市議会では、総務常任委員会、広報広聴常任委員会に所属。

趣味

読書。近年の技術発展で自動翻訳の精度が大幅向上。ウェブ上の外国語文献が身近になりました。

座右の書は、カール・マルクスの『資本論』。好きな標語は、「知は力である」、「全ては疑い得る」。

市民の命と暮らしを守る岩田泰明さん

前小田原市議 関野隆司

共産党市議団が50年以上求めてきた子供の医療費無料化は、中学校卒業まで進んできました。私が20年以上前から市議会で求めてきた小田急線などの踏切安全対策では、富水1号、5号踏切、曾我の町田踏切の歩道が拡幅。まさに、継続していることが力になります。

郷土の偉人、二宮尊徳翁は「心の田畑さえ開墾できれば世間の荒れ地を開くことは難しからず」と説いています。岩田君が市議会に新風を吹かせるよう期待します。



私も推薦します

大野 悦子 (医療生協・おだわら診療所 医師)

細やかな調査能力と探求心を活かして、身近な要求を実現し、私たちの代表として、この4年間頑張りました。

私たち市民の命と暮らしを守るために先頭に立って、市議会で論陣を張る。この岩田泰明さんが適任です。引き続き活躍していただきたいと思います。

小谷カツエ (たんぼぼ保育園 園長)

子供たちが平和な中で暮らしていける小田原であって欲しい。共産党は憲法9条を守り、軍国主義復活には一貫して反対しています。

福祉政策の優先を求めてきた岩田さんには、小学校、中学校の給食費及び保育園、幼稚園の主食代、副食費の無償化を実現させていただきたいです。

佐藤 忠明 (小田原地域生活と健康を守る会 会長)

とても勉強家であり知識豊富である。支所問題等、地域住民の要望をよく調査し改善に努めている。一期4年の経験を活かし、一層の活躍が期待できる。

市政革新へ私たちも応援します

池田 優 (飯田岡)
西湘地域労働組合総連合議長

大須 眞治 (飯田岡)
中央大学経済学部名誉教授

小林 恵二 (新屋)
元小学校教諭

鈴木 誠司 (曾比)
一級建築士

瀬戸 律子 (栢山)
喫茶店「エプーゼ」

田嶋 英輔 (小台)
元高校教諭

長野 孝 (飯田岡)
薬剤師

中村 由紀子 (栢山)
電機・情報ユニオン神奈川支部委員長

堀内 喜久子 (栢山)
医療生協かながわ理事

保田 一 (北ノ窪)
国鉄労働組合国府津支部元書記長

渡辺 陸生 (千代)
神奈川上建西相支部常任執行委員

山本 拓 (板橋)
小田原民主商工会事務局長

日本共産党

大型発か、福祉充実か。

小田原市議会議員

泰明
岩田 やすあき

市民に
あたたかい
平和な市政を

市議会に送り出していただいて4年。圧倒的多数を占める額に汗して働く者の要求と市議会を結び、市政をより良い方向へ動かしたいととりくんできました。

支所等廃止に象徴される周辺部切り捨てを許さず、物価高による生活苦を軽減する福祉優先の市政実現のため、引き続き頑張ります。

活動地域：桜井(栢山・曾比)、下曾我(曾我岸・曾我原・曾我谷津・曾我別所・曾我光海)、曾我(曾我大沢・上曾我・下大井・鬼柳)、上府中(延清・西大友・東大友・永塚・千代・高田・別堀)、豊川(桑原・成田)、富水・東富水(府川・蓮正寺・中曾根・飯田岡・堀之内・柳新田・小台・新屋・北ノ窪・清水新田・穴部・穴部新田)、多古の一部。

継続が力に 皆さんと共に市民要求実現へ着実に前進

- 小児医療費助成を中学卒業まで無料にし、所得制限撤廃を実現
- 重度障がい者医療費助成制度の無料化等を堅持
- 国民健康保険料、介護保険料の問題点指摘し、引き上げを許さず
- 市立小中学校の普通教室全てにエアコン設置し、特別教室は順次設置を実現
- 放課後児童クラブの民間委託に反対/支援員配置基準を維持
- 小規模保育施設の増設
- ◆地域の足の確保（路線バスの路線維持）のための助成実現
- ◆富水1号踏切に続き富水5号踏切、町田踏切の歩道拡幅の実現
引き続き栢山1号踏切拡幅を要求
- ◆富士道橋歩道横断防止柵の設置が実現
- ◆国府津駅自転車駐車場や市立病院駐車場の有料化に反対
- 支所、生涯学習センター分館の再配置を一貫して要求
- 市集会施設の利用上の注意から誤った利用制限的記述を削除・改正
- 市民に使いやすい三の丸ホールの実現。開館後も改良続ける



旧曽我支所



富士道橋



日本共産党

岩田 やすあき

住民本位のまちづくり

「住んで良かった」幸せ感じる小田原に

3つの提案

- 暮らしを支える社会保障を**
生活圧迫する高額な国民健康保険料を、市費投入で引き下げ。
聴力の衰えを補う補聴器購入費助成。
公営住宅退去時負担の軽減。
- お金の心配なく、学び、子育てができる小田原を**
小児医療費の18歳までの無料化。
市立幼稚園、保育園、小学校、中学校の給食費無償化。
- 8時間働けば普通に暮らせる小田原を**
公契約条例の制定で、官製ワーキングプアを根絶。
地場賃金の引き上げ。
農林水産業をはじめとする小経営支援で、賃金労働者と同等の所得水準確保を。
農業基盤整備で営農継続の保障を

人口減少下で自治体の最優先課題は、福祉の充実や子育て支援—大型開発は問題

小田原市は、少年院跡地（扇町・敷地面積約2.5万㎡）に、「ゼロカーボン・デジタルタウン」の設置を構想。2030年開設を目標に「『ゼロカーボン』と『豊かな暮らし』との両立する新しい街」を創造するとしています。

しかし、少年院跡地の土地価格だけで約37.5億円（推定）も必要な大型開発事業です。いま市に必要なのは大型開発ではなく、福祉の充実ではないでしょうか。

支所廃止地域の声を市政に届ける

- 地域的特性に対応する旧町村単位のまちづくりを求める。
- 市内水稲耕作の維持のため、水田保全奨励金制度の創設を求める。
- 支所等跡地売却代金などを、当該廃止地域の固有財産化を求める。
- スクミリンゴガイの根絶にむけ対策強化を求める。
- 酒匂川霞提の防災意識向上に資する利活用を求める。
- 市独自の耕作放棄地解消事業費補助金制度の拡充を求める。



▼岸田政権の大軍拡に反対し、憲法・平和・暮らしを守ります
戦争で苦しむのも、軍事費を負担するのも、死ぬのも市民。税金は、軍拡よりも福祉・子育て充実に充当すべき。

▼働く人が豊かになってこそ
市民の圧倒的多数は、労働者、農漁民、小零細経営者と年金生活者。市の経済政策は大企業支援ではなく、勤労市民への支援こそ求められます。

▼物価高騰の中だからこそ、社会保障費と教育費の負担軽減を
医療と福祉をよくする自治体の役割を重視。住民の命と健康を守る施策の強化・拡充こそが必要です。

▼子どもの権利を尊重し、子育て支援の抜本的に強化を
子どもの医療費を国制度化し18歳まで無料化、給食費無償化を求めます。
一方的な学校統廃合に反対し、地域に根ざした学校づくりをすすめます。

▼デジタル化は市民のために
本人同意なき個人情報利用は、匿名加工情報といえども認められません。

▼市民を主役に
自治の主体は、民間資本ではなく主権者たる市民です。「公民連携」名目にした公的責任放棄は許されません。

- ▼防災・住民本位のまちづくり
- ▼ジェンダー平等を促進
- ▼省エネと再エネの推進
- ▼専門的知見に基づくコロナ対策